

「チームをこわす管理職」と

「チームをつくる管理職」の違いとは

チームビルディングの鍵!組織を活性化する生産的な管理職開発セミナー

新型コロナウイルスの影響により、多くの企業において社員同士の結びつきが弱まってきています。アフターコロナ時代において、再度管理職がチームをまとめることができるかが鍵となってきていますが、現実的には様々な問題に直面し、困難な場面に陥っているケースが散見されます。

今回は、管理職・リーダーのチーム形成力にスポットライトをあて、「チームをこわす管理職」と「チームをつくる管理職」の2つの観点に立ち、組織が活性化するために必須のチームビルディングについて、様々な事例やデータをもとにお伝えします。(セミナー時間目安2.5時間)

講師 山下 大輔(株式会社新経営サービス 人材開発部 コンサルタント)

大手教育会社にて数多くの講師登壇並びに人材育成に従事。

その後、事業会社の経営幹部として組織体制の構築や全国エリア統括として部署横断型のプロジェクトチーム立ち上げ等を経験。

「活気ある組織作りを基軸に中小企業を支援したい」との思いから新経営サービスへ入社。単なる研修実施ではなく、経営課題の解決につながる人材開発・組織開発コンサルティングを心掛けている。



【内容】

PART1 組織が良いチームになるために必要なこととは

- ・良いチームの定義とは
- ・伝える側と伝えられる側のギャップをいかになくすか(目標・目的の共有)
- ・チーム全員が有意味感・参画感を持つ環境とは

PART2 チームをつくる管理職はこわす管理職とここが違う!

- ・チーム1人1人が輝くために管理職として持つべきものとは
- ・部下をやる気にさせ、各人の可能性を引き出すメンターとしての振る舞い方
- ・部下とともに学び成長するための「1on1面談」
- ・普段のコミュニケーションから意識することで部下の自発性を引き出す「コーチング」
- ・チームをつくる管理職が特に上手な「任せる技術」とは

PART3 成果を生み出し発展していくチームをつくる管理職とは

- ・「〇〇の質」に徹底的にこだわることにより、成果を出し続ける
- ・上司から部下へ行うだけではないフィードバックによる様々な効果